

野田市総合公園及び関宿総合公園並びに体育施設 指定管理者候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成29年2月17日（金）10時30分から10時55分まで
開催場所 市役所512会議室
出席委員 生涯学習部長（委員長）、総務部次長、企画財政部次長、自然経済推進部次長（みどりと水のまちづくり課長）、行政管理課長、管財課長、社会体育課長
欠席委員 無し
事務局 社会体育課、行政管理課

1 開 会

2 議 事

<審議の概要>

（1）平成28年度（4月～12月）総合公園業務報告書及び平成29年度総合公園業務計画書の審査について

- 報告書13ページの委託実施状況にスズメバチ駆除業務とあるが、スズメバチの巣はどこにできて、業者が駆除する際に利用者の安全上の配慮はどのように行ったのか。
 - テニスコート脇の園路及び野球場ライト側の園路の巣を業者に委託して駆除した。駆除の際には注意看板を設置し、園路を通行止めにするにより、利用者の安全を確保した。
- 報告書4ページの自主事業への取組について、春と秋に開催している自主事業のヨガ教室が好評のようだが、利用者へのサービス向上のため、夏・冬も開催することはできないのか。
 - 今年度の春季の教室は、定員35人のところ、応募が30人で定員に満たなかったため、夏・冬の開催については、動向を見て検討することとしたい。
- 報告書4ページの自主事業等への取組について、自己評価Aとなっている理由は何か。
 - 自主事業として、今年度より水泳場事務所においてゴーグル、ビーチボール等の商品を販売し、約326千円の売上げがあった。新しい取組みとして一定の成果があったことから、自己評価はAとなっている。

- 報告書 3 ページのサービス向上のための取組について、トレーニング室が利用者に好評のようだが、課題や問題点はないのか。
- 強いて言うならば、トレーニング室の会員が利用できるエアロビ等の健康体操の指導について、希望者が多く混み合っている。現時点では限られたスペースの中で利用者の譲り合いなどにより問題になっていないが、今後さらに利用者が増えてきた場合には、利用者同士の体がぶつかるなどのトラブルや思い切り運動ができないという苦情が起きる可能性がある。床面積の変更等は考えられないので、参加者の定員を定めることも考えていかなければならない。

- 報告書 7 ページの要望や苦情への取組について、窓口等での意見とあるが、窓口以外で利用者の意見をどのように把握しているのか。
- 添付資料の「アンケート集計結果」にあるように、総合公園においてもアンケートボックスを設置し、利用者ニーズの把握に努めている。また、頂いたご意見に対しては、指定管理者と市が連携を図りながら対応している。

- 報告書 26 ページの※3 水道料について、水道料の減少は、水泳場入場者数が見込みより減少したためとあるが、平成 28 年度の水泳場利用者数は前年度比 2,044 人増の 46,775 人となっている。平成 28 年度は何人を見込んでいて、目標に達しなかった理由を教えて欲しい。
- 平成 28 年度の水泳場入場者数は平成 24 年度から 27 年度までの 1 日当たり平均入場者 775 人に開場日数を乗じた 50,375 人を見込んでいた。目標入場者数に達しなかった理由は、海の日から盆明けまで気温が 30℃以下であることが多々あり、前年度に比べて入場者数は増加したが、目標入場者数には達しなかった。

<審議の結果>

平成 28 年度（4 月～12 月）総合公園業務報告書及び平成 29 年度総合公園業務計画書の内容について了承。

（2）平成 28 年度（4 月～12 月）関宿総合公園及び関宿少年野球場業務報告書の審査について

- 報告書 25 ページの自主事業報告について、自主事業は収益を見込んでいないが、今後の自主事業の在り方についてどのように考えているか。
- 毎日興業は、自主事業の企画に当たり、市民の健康増進、スポーツの振興及び施設の活用を第一に考えており、利益を求めていると聞いている。しかし、大きく赤字を出すこともできないため、今後は教室ごとにスクラップアンドビルドを実施しながら自主事業を継続していく考えである。

- アンケートで寄せられたご意見・ご要望の中で特に多かったものはどのようなものか。それに対してどのような対応をしたのか。

また、職員による情報カードは利用者ニーズをどのように反映させたのか。

- グラウンド・ゴルフ場利用者から「芝の手入れがされており、気持ち良くプレーできた」、体育館利用者からは、「館内の清掃が行き届いており、とてもきれい」といった意見をいただいている。

また、利用者の要望を反映させた例としては、グラウンド・ゴルフ場に四阿を設置して欲しいとの声に対し、処分場跡地を利用した施設で四阿は設置できないが、休憩所として日除けのテントを2か所設置した。

職員による情報カードで改善した例としては、サブアリーナで無料のスポーツ教室を行った直後にトレーニングルーム会員のみが受講できるエアロビを行っていたが、「会員以外の人も参加している」という苦情に対し、スポーツ教室終了後、一旦会場を出てもらい、会員カードを入口で点検するように改善した。

- 関宿体育館は竣工後10年を経過しているが、指定管理者の修繕限度額20万円を超えて修繕をした工事を教えて欲しい。

- 28年度はバスケットボールのゴールと管理用カメラの修繕工事を社会体育課が実施した。いずれも経年劣化による修繕で前者は393千円、後者は351千円の修繕費用であった。

- 報告書17ページ記載、破損及び修繕の実施状況について、各運動機器の破損はどのように分ったのか。また、日頃の点検はどのように行っているのか。

- トレーニング機器に破損があった場合、利用者が発見することが多い。日常点検は、早朝にスタッフが館内を巡回する際に実施している。

<審議の結果>

平成28年度（4月～12月）関宿総合公園及び関宿少年野球場業務報告書の内容について了承。

3 閉 会